

図工
だより

みちくさ

府中市立
府中第七小学校
図画工作科
令和2年
6月1日発行
伊藤 志帆

楽しい図工の時間を準備して待っています

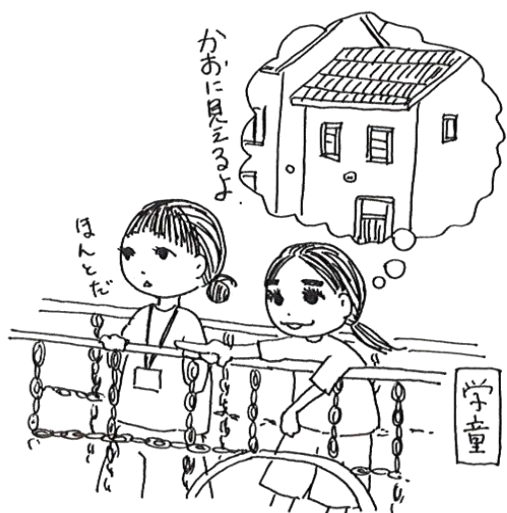
休校中、図工専科として何ができるのか悩みました。学校でできる図工の学びは友達と一緒に学ぶことで、自分の思いを広げることだと思っっているの、家でできることはなんだろうと思っっていました。そんな中、帰宅中にとある子の家の前に、花や枝や草がすてきな感じに並べられていました。それを見て「これだな。」と思いました。だれかにこれをやりなさいと言われなくても、自然と子供たちは身の回りの物を使って、自分の感覚を働かせて遊びます。

家にいて友達と関われない分、今は自分の世界を深めることができます、思いました。図工専科として、そのきっかけを投げ掛けられればと思い、ホームページに題材を載せました。すると、たくさんの子が作品を学校に持って来てくれました。どれも自分なりの工夫が多くあり、その子らしさでいっぱい作品でした。また、図工だよりでお知らせした「図工チャレンジウィーク」にも、お知らせしたその日から多くの作品がメールで届きました。みなさんが、家で絵を描いたりものをつくったりして、楽しく過ごしていたのだと分かり、うれしかったです。

保護者の方から、「ホームページに自分の作品が載ったことで、お子さんがとても喜んだ」という話もお聞きし、やってよかったなと思えました。

(メールが学校に届かない不具合がありました。心当たりのある方は、画像を小さくして再送いただけると幸いです。)

さて、専科の授業ももうすぐ始まります。いつもどおりにできないことが多く、今またどうするか考えています。みんなにとって、楽しい学びの時間になりますように。



学童でのワンシーン

